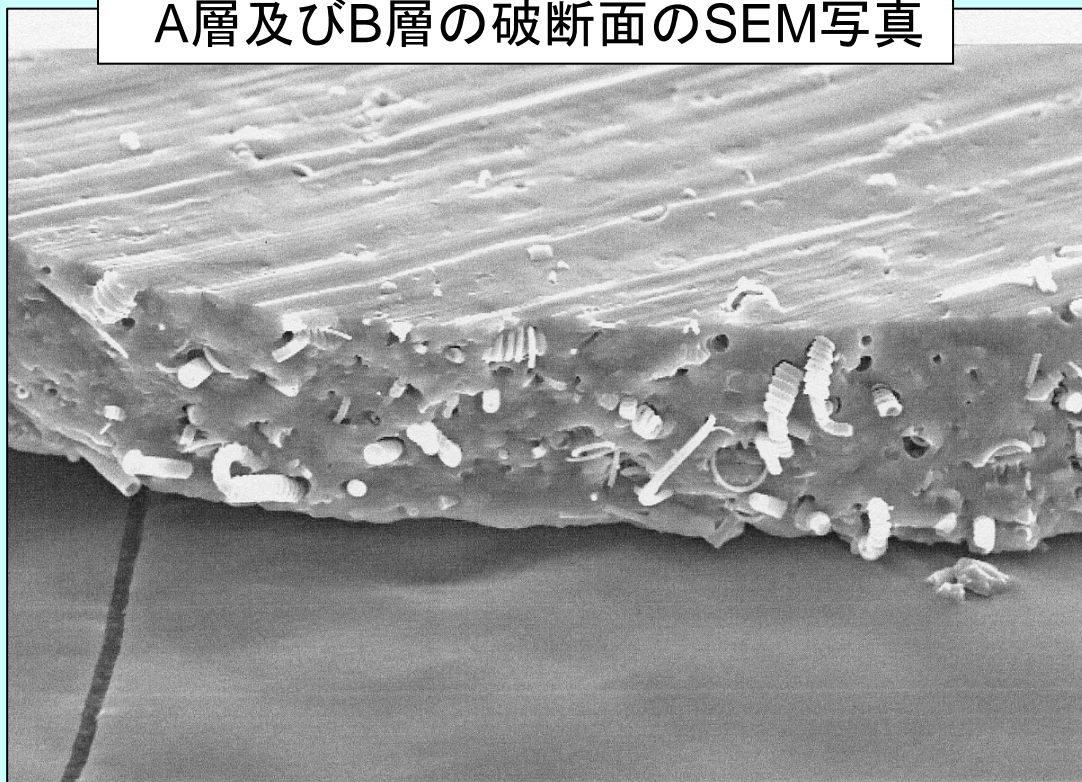


CMCの応用例

CMC消炎鎮痛材

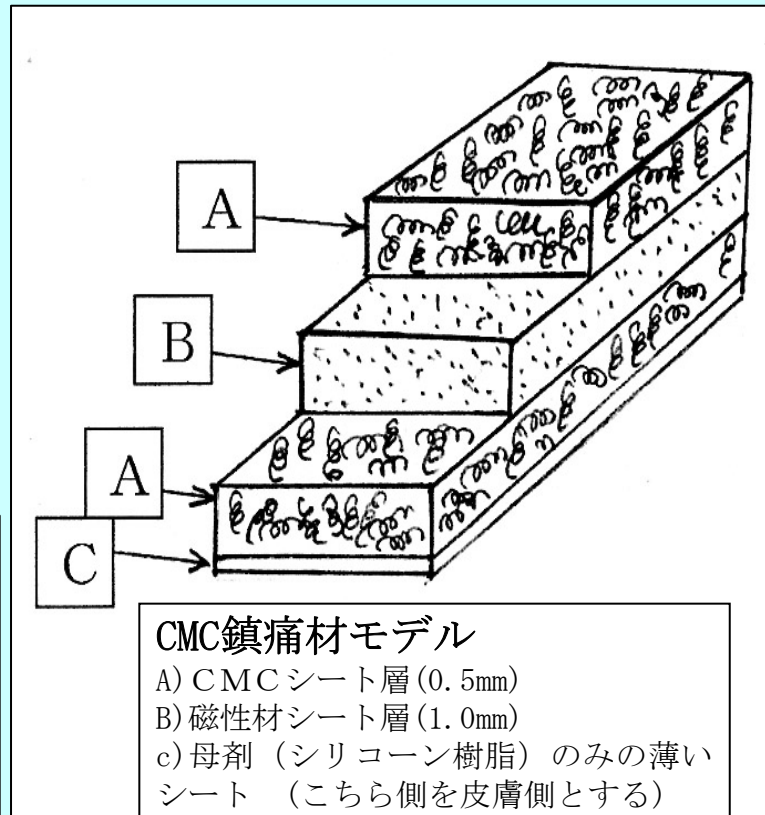
シリコーンゴム中にCMC及び磁性粉末(パーマロイ及びフェライト)を添加したシートを、右図のように3層構造としたものである。

A層及びB層の破断面のSEM写真



SE 04-Jun-09

WD10.6mm 20.0kV x500 100um



矢山利彦博士(矢山クリニック院長
(佐賀市)が発見

CMC 消炎鎮痛材の鎮痛効果（例）

（貼付け 5 分後の痛み軽減の程度：貼る前の値を 10（定性的な主観値）とする）

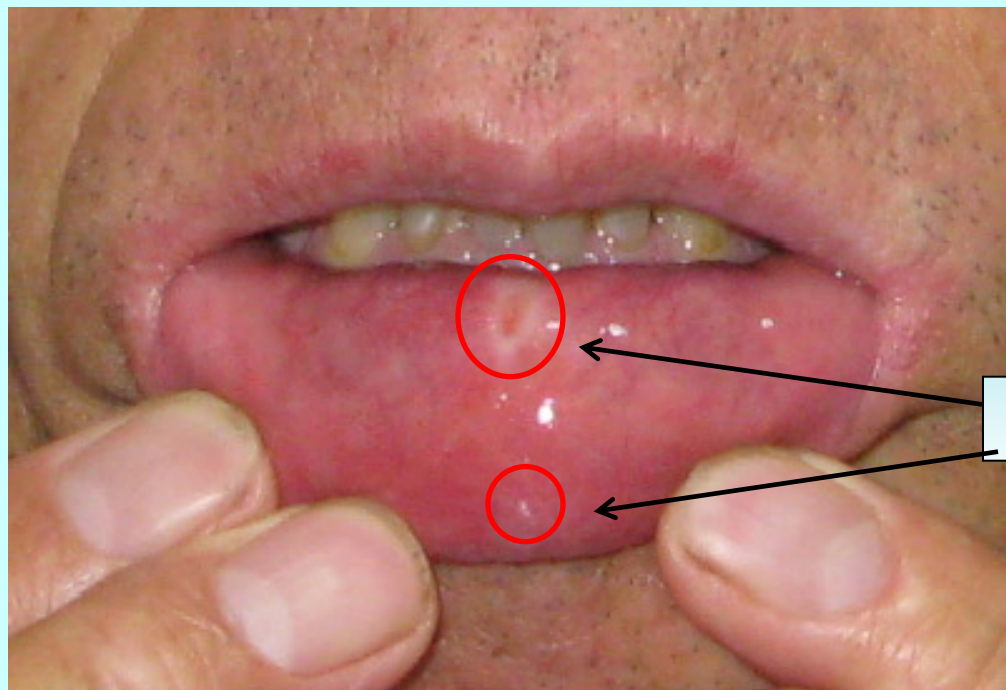
（被験者）（痛みの種類）（痛み軽減の程度）

1)	右肘右手痛	10	→	2
2)	RA			1
3)	腰痛			1
	頸痛			1
4)	右膝			0
5)	RA			1
6)	抜歯後の痛み			1
7)	抜歯後の痛み			0
8)	RA			3
9)	腰痛			5
10)	右肘骨折後の痛み			2
11)	右肩痛			4
12)	右中指関節痛			1
13)	ギックリ腰			6
14)	肩こり			1
15)	肩こり			1
16)	肘			1
	アキレス腱痛			2
18)	肘，頸痛			1
19)	腰痛			3

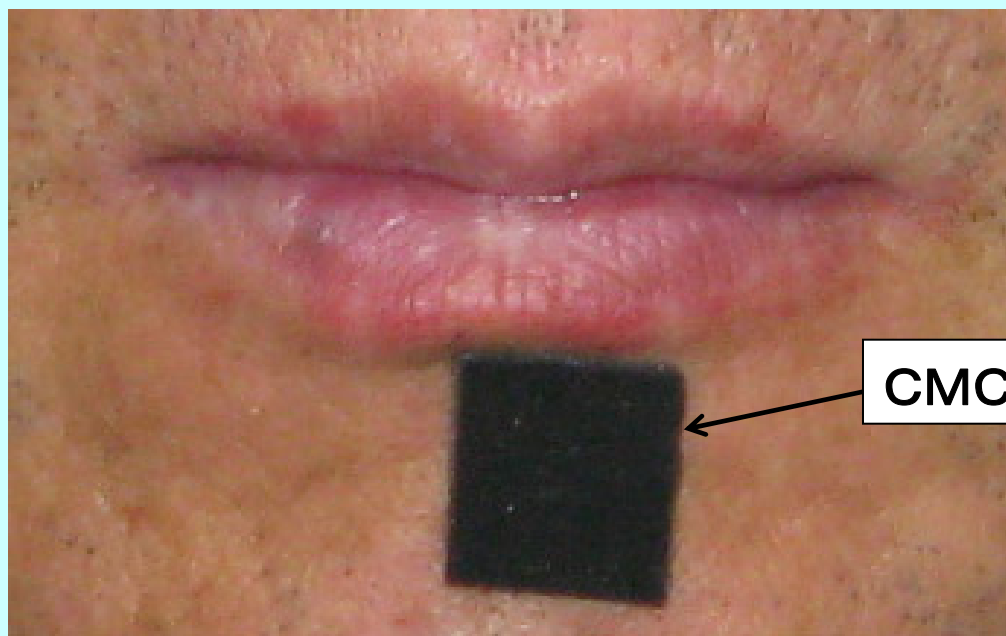
矢山クリニック(佐賀市)のデータ

[実証例]

(68歳、男、口内炎の痛み除去)
ひどい口内炎痛(2か所)があったが、
CMC鎮痛剤(10x10mm²)を貼り付け
たところ、痛みは次第に軽減し、10
分後には痛みはほとんど感じなく
なった。半日そのまま貼り付けた後
これを剝したが、以降痛みは全く感じ
なかった。(口内炎そのものは3-4日
治癒していなかった)



口内炎



CMC鎮痛材

CMCを用いた新規の消炎鎮痛材の特徴

CMC消炎鎮痛材は、従来の経皮消炎鎮痛剤のように、消炎鎮痛効果のある薬剤を全く使用せず、CMCにより波動的に消炎鎮痛効果を発現させる点に大きな特徴がある。すなわち、

- ① CMCを主有効成分として少量添加した消炎鎮痛材を単に患部表面に貼り付けるだけで、腰痛、肩こり、腱鞘炎、筋肉痛、抜歯痛、腹痛、頭痛、神経痛など、ほとんどすべての痛みを緩和・抑制できる。
- ② CMCはほぼ純粋な炭素質であり、生体内には吸収されないの
で副作用は全く認められない。
- ③ CMC消炎鎮痛材の効果は、長期に持続し、洗浄や洗濯が可能
であるので、何回でも反復使用ができ、非常に経済的である